

# 高校生議会

# 若い発想で

# 総社市をさらに前進



①高校生議員全員でガッツポーズ ②白熱した議場 ③高校生議員の代表2人は議長も務めた ④市政について、真剣に質問する高校生議員



高校生に市政への理解と関心をもってもらおうと、1月19日、高校生議会を開催。高校生議員として、総社高校と総社南高校の1・2年生12人が市長や教育長ら市幹部と熱い議論を交わしました。

この議会には、総社高校と総社南高校の1・2年生12人が高校生議員として参加。議席の指定や会議録署名議員の指名など通常の市議会さながらの進行で行われました。一般質問では、高校生議員12人全員が登壇。空き家の有効活用、自転車専用道路建設、英語教育、高齢者への支援、防災対策など、若者の視点から見た市政についての質問があり、市長や教育長、担当部長が真剣に答弁しました。

高校生議会は平成25年11月に初めて開催され、今回で2回目です。

## 選挙権が満18歳以上に!!

平成27年6月に公職選挙法が改正され、選挙権の年齢がこれまでの「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げられることになりました。

現時点では、今夏に予定されている参議院議員通常選挙から投票に参加できる見込みです。総社市の未来を担う高校生が、今回の高校生議会がきっかけとなり、社会の担い手である自覚をもてればと考えています。



### ◆一般質問 (一部抜粋：敬称略)

#### 空き家の有効活用



**柏野 悠吾**  
総社高校1年

超高齢化が進むなか、空き家は増加傾向にあります。空き家を減少させるために、学生や高齢者、独身者のルームシェアなどの取り組みを行ってみてはどうでしょうか。

#### 交通ルールについて



**小野 裕介**  
総社高校1年

交通マナーを良くするために、小学生にも分かりやすいポスターを作成し、路側帯の幅が狭いところや小学校の前に貼ることが必要ではないでしょうか。

#### 総合病院の建設



**松岡 大生**  
総社高校1年

市内には多くの病院がありますが、小児科、内科、外科など一度に幅広く診察できるところはありません。総合病院を建設し、総社市の医療を発展させることはどうでしょうか。

#### 英語教育について



**芝崎 瑞穂**  
総社南高校2年

総社南高校には国際系という学科があり、将来英語を生かした仕事を目標としている人がいます。そのような人が、英語特区の子どもと交流し、共に英語を学ぶことは将来につながる貴重な経験となると思いますが、いかがですか。

#### 空き家の有効活用



人口減少が進んでいる昭和地区では、地域住民などが中心となり、住むことができる空き家探しや地域住民との交流を企画している。

**市長** 核家族化や世代間交流が希薄になっている現状を踏まえ、総社高校や総社南高校、岡山県立大学に市外から通う学生に対して、高齢者の家に住んでもらうような仕組みを、地域のニーズを把握しながら、検討していきます。

#### 交通安全



平成26年度交通安全ポスター作品コンクールの最優秀賞作品。このポスターは、商業店舗や公共施設など約230か所に掲示している。

**市長** 平成25年12月から道路交差点が改正され、自転車のルールが大きく変わりました。交通ルールの徹底は大切なことなので、分かりやすいポスターを作成し、貼る場所についても検討しつつ取り組んでいきたいと思えます。

#### 地域医療連携協定



昨年6月に行われた、地域医療連携協定締結式。

**市長** 市では倉敷中央病院、倉敷平成病院、川崎医科大学附属病院に市内の重篤患者や3次救急医療を委ねる協定を結んでいます。今後民間による市内の2次救急医療体制を整備し、切れ目のない医療や介護の提供を目指します。

#### 英語教育



昨年9月に青山学院大学の学生がボランティアとして英語特区を訪れ、英語を通じて、子どもと交流した。

**教育長** 英語特区を含め、全市から児童生徒の参加を募り、英会話のみでキャンプをするイベントを予定しています。こうしたイベントにも積極的に参加し、交流を深めていただきたいと思います。